

2019年度 岩手県社会福祉士会実践研究発表会



【実践研究とは？】

社会福祉士として、より質の高い支援を提供するためには、自らの実践を振り返り、評価・検証し、研鑽を繰り返すことで力量を向上することが大切です！

また、第三者に対して、援助の意義や効果を根拠と共に適切に説明できる能力も求められます。

さまざまな課題に取り組む社会福祉士の実践を検討し、援助活動について、一緒に考えてみませんか？

1. 日 程 2020年2月15日（土） 13時開会～17時閉会
2. 会 場 盛岡医療福祉専門学校 5階 視聴覚室
〒020-0025 盛岡市大沢川原 3-5-18
※駐車スペースは確保していませんので、近隣の有料駐車場または公共交通機関をご利用ください。
3. 対象者 (1) 岩手県社会福祉士会会員
(2) 学生（大学生・専門学校生（通信課程含む））
(3) その他実践研究発表に関心のある方
4. 定 員 80名（受付先着順）
5. 参加費 無料
6. 申込方法 別紙の申込書にて、下記事務局までFAXでお申込み下さい。
申込締切：2020年2月7日（金）必着
7. その他 会場は収容人数に限りがあるため、申込順での受付となります。
※人数超過により受付できない場合のみ、個別にご案内を申し上げます。
8. 連絡先 〒020-0816 盛岡市中野二丁目 16-1
(一社) 岩手県社会福祉士会事務局
【FAX】019-613-5506 【E-mail】info@iwate-csw.or.jp

～ 実践研究発表会スケジュール ～

時間	内容
13:00～13:10	オリエンテーション
13:10～13:40	発表者：菅野 充（相談支援事業所こぶし相談室） 知的障害者の生活の場の移行と親に関する研究 —知的障害者の親によるケア役割の変容の一考察—
	休憩5分
13:45～14:15	発表者：鷹觜 まゆみ（盛岡駅西口地域包括支援センター） ALSの方が在宅生活に必要なこと —人材確保が困難な中で在宅生活を可能にするために—
	休憩5分
14:20～14:50	発表者：湊 美紀子（山田町社会福祉協議会） 生活困窮者の自立支援について —ソーシャルサポート・ネットワークの構築—
	休憩5分
14:55～15:25	発表者：菅原 大輔（一関東部地域包括支援センター） ALS患者の権利擁護支援 —現行制度の壁と意思決定支援の関係性について—
	休憩5分
15:30～16:00	発表者：高橋 智史（やまゆり荘居宅介護支援事業所） ブロック活動における若手社会福祉士を対象とした研修会について —社会福祉士としての専門性を高めるために—
	休憩5分
16:05～16:35	発表者：阿部 千里（エスカール在宅介護支援センター） 「地域共生社会」を具現化するための北上市における課題と展望 —モデル事業の取り組み及び関係機関からの聞き取りによる考察—
16:35～17:00	総評・閉会・アンケート記入

【会場地図・外観】

盛岡医療福祉専門学校5階視聴覚室（盛岡市大沢川原 3-5-18）

